



国内における高病原性鳥インフルエンザ 疑似患畜発生状況（12月14日時点）

12月13～14日に3県4ヶ所で高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認されました。

	都道府県	市町村	畜種	飼養羽数	疑似患畜判定日	病原性	亜型
23	滋賀県	東近江市	採卵鶏	約1.1万羽	12/13	検査中	H5
24	宮崎県	宮崎市	採卵鶏	約7万羽	12/14	検査中	H5
			疫学関連農場（ア）約4.5万羽 （イ）約1.1万羽				
25	香川県	三豊市	採卵鶏	約2.8万羽	12/14	検査中	H5
26	宮崎県	日向市	肉用鶏	約4.6万羽	12/14	検査中	H5
		川南町の食鳥処理場（農場から出荷後未処理係留中）：肉用鶏約2万羽					

●野鳥からのウイルス確認が続いています

12/7に鹿児島県出水市内の2地域で採取した環境試料（水）2検体から高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N8亜型）が、また、12/7に鳥取県鳥取市で採取した野鳥糞便から高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5亜型）が検出されました。

野鳥での確認が7道県15事例、検査中が1県1事例と相次いでおり、環境中のウイルス濃度が高まっています。飼養衛生管理基準の自主点検とともに、農場内の適切な消毒実施をお願いします。

参考

農場周囲への消石灰散布

消石灰散布の効果について、平成19年10月社団法人全国家畜畜産物衛生指導協会『高病原性鳥インフルエンザの発生を防止するために』より抜粋します

皆さんは『農場周囲への消石灰散布』という言葉から、何を想像しますか？まずは『消毒』という言葉が頭に浮かぶのではないのでしょうか。正にそのとおりなのですが、それ以外にも実は消石灰を撒くことで、野生動物の侵入防止や侵入防止対策の糸口がつかめるのです。

消石灰の効果をもとめると、

- ①高病原性鳥インフルエンザウイルスに対する消毒効果とともに、ネズミなどの野生動物に忌避効果がある（いやがって近寄らない）
- ②ネズミなどの野生動物が侵入したかどうか、またどこから侵入したのかが足跡等でわかりやすくなる

ということです。

このため、定期的に農場敷地周縁・鶏舎周囲、農場内道路に2～3m幅で一面に白く覆うように撒きます。

飼養衛生管理基準遵守状況の自主点検・再徹底をお願いします！

- 衛生管理区域に立ち入る者の手指消毒、専用の衣服及び靴の設置並びに使用
- 衛生管理区域に立ち入る車両の消毒等
- 家きん舎に立ち入る者の手指消毒等、家きん舎ごとの専用の靴の設置及び使用
- 野生動物の侵入防止のためのネット等の設置、点検及び修繕、ねずみ・害虫の駆除